

すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2023
令和5年
8-20
No.612

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



千曲市 ^{みたき}三滝
ミソサザイ(鷓鴣)

日本の野鳥の中で一番小さなこの鳥。ゴルフボールぐらいの大きさです。山沿いの溪流で囀る美しい声は、小さな体に似合わずとても大きく、周囲に響き渡ります。古事記・日本書紀にも登場し、古くから日本人に愛されました。西欧でも数々の神話や民話に登場。「鳥の王様」の称号で呼ばれています。この日は、千曲市の納涼スポットで道案内に忙しく飛び回っていました。

「さうとんで 棒にあたるな みそさざい」
小林 一茶 (七番日記)

- 長野しんきん
月例調査レポート 2
- 企業アンケート
「人材育成」② 6
- インタビュー
変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃
明治時代の風景 (17) 10
善光寺周辺

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



これからも、ずっといっしょに、このまちで



概況 全産業

生産は3カ月連続の低下 前年同月比は5カ月ぶりの上昇

◇2023年5月の長野県鉱工業指数

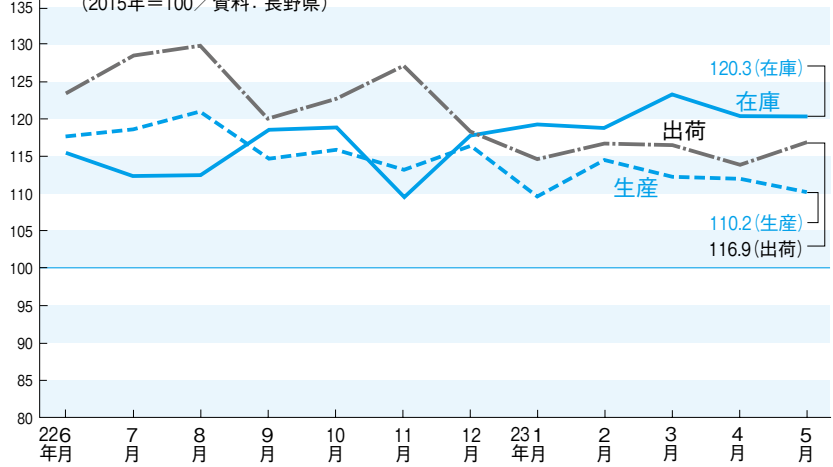
(速報：季節調整済指数)

生産は110.2(前月比▲1.6%)で3カ月連続の低下、出荷は116.9(同+2.6%)で3カ月ぶりの上昇、在庫は120.3(同▲0.1%)で3カ月ぶりの低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は104.9(前年同月比+1.1%)で5カ月ぶりの上昇、出荷は110.4(同▲0.8%)で5カ月連続の低下、在庫は120.1(同+10.8%)で3カ月連続の上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…輸送機械、電気機械、食料品など8業種
低下…情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイスなど9業種
- [出荷] 上昇…情報通信機械、輸送機械、その他など10業種
低下…電子部品・デバイス、金属製品、窯業・土石製品など7業種
- [在庫] 上昇…電子部品・デバイス、電気機械、窯業・土石製品など8業種
低下…その他、情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械など8業種

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 2023年5月

◇7月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(37

%)が2割増加、「減少」割合(29%)が2割減少、「不変」割合(34%)は1割減少、全体としては横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少
↻ 改善 ⇄ 不変 ↻ 悪化

業種	前回	今回	前回	今回	前回	今回	調査会社数(回収率)	30人未満	30人以上
全産業 (不動産業・旅館業を除く)	34.7 →	36.8 ↑	34.7 →	34.2 →	30.6 →	29.0 ↓	196社(回収率87.1%)	72.4%	27.6%
製造業	35.4 ↗	29.2 →	35.4 ↘	35.3 ↘	26.2 →	26.2 →	65社(回収率81.3%)	64.6%	35.4%
建設業	38.5 ↗	35.3 ↘	26.2 →	26.2 →	26.2 →	26.2 →	65社(回収率92.9%)	84.6%	15.4%
卸小売業	25.6 ↘	46.2 →	28.2 ↗	28.2 ↗	28.2 ↗	28.2 ↗	39社(回収率83.0%)	79.5%	20.5%
サービス業	57.1 →	42.9 ↗	42.9 ↗	42.9 ↗	0.0 ↘	0.0 ↘	7社(回収率87.5%)	85.7%	14.3%
輸送業	33.3 ↘	22.3 ↗	44.4 ↗	44.4 ↗	44.4 ↗	44.4 ↗	9社(回収率90.0%)	11.1%	88.9%
外食業	75.0 ↘	12.5 ↘	12.5 ↗	12.5 ↗	12.5 ↗	12.5 ↗	8社(回収率80.0%)	50.0%	50.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前月に比べ「増加」割合(35%)が10ポイント増加、「減少」割合(35%)が12ポイント減少、「不変」割合(29%)が1ポイント増加、全体として増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	25.0	28.1	46.9
	今回	増加 35.4	不変 29.2	減少 35.4
食料品		31.3	18.7	50.0
金属加工		54.5		27.3
一般機械		80.0		0.0
電気機械		50.0	33.3	16.7
自動車部品		100.0		0.0
精密機械		50.0	50.0	0.0

[業種別] 増加…金属加工・一般機械・電気機械
自動車部品・精密機械
減少…食料品

[機械稼働] (前回比) 稼働率 上昇

上昇割合 (20%) → 23%

下降割合 (24%) → 14%

[受注状況] 受注量 (前回比) 上昇

増加割合 (15%) → 22%

減少割合 (25%) → 14%

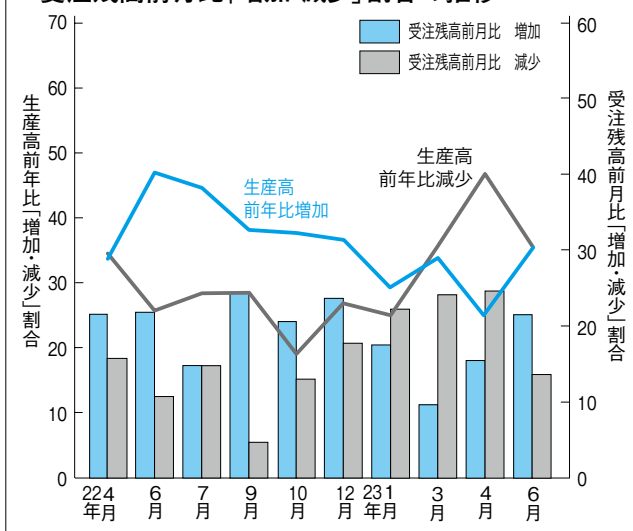
受注残高(1.8ヵ月) → 1.8ヵ月

[受注基調] (前回比) 上昇

上昇割合 (18%) → 26%

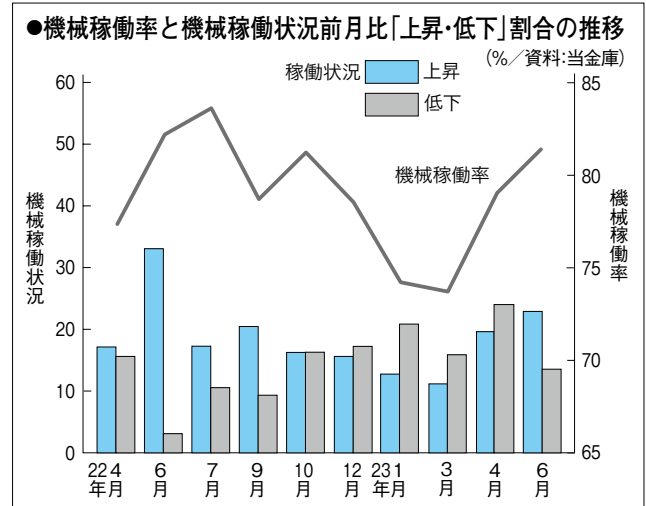
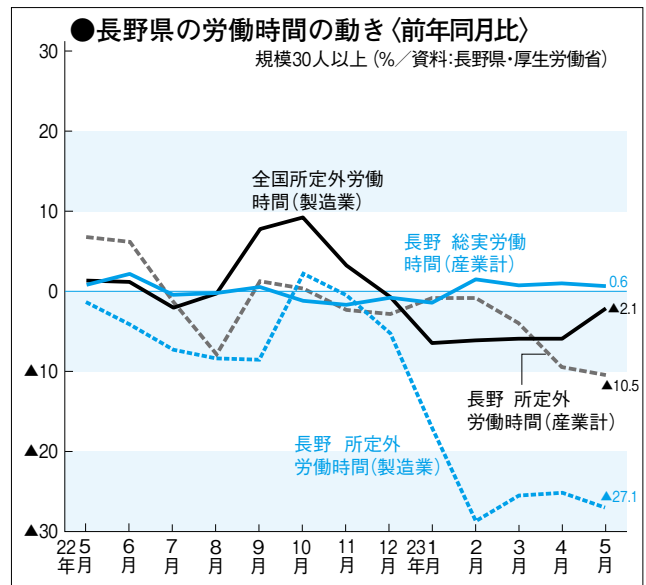
下降割合 (27%) → 17%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%/資料:当金庫)



企業からのコメント

- ★商品の値上げ等が影響しているのか、問屋を介してのスーパー・小売店系の売上げが例年より落ち込んでいる。時代のニーズに即したネットなどの新しい販路の開拓・拡大が必要だと感じている。(乾メン)
- ☆★来年度の新札発行に向けて、微増ながら動きがあって良かったが、ATM関連の受注ははかばかしくない。(プリント基板)
- ★☆半導体の供給は10%程度足りないが、その他の部品の供給は安定しており、一か月を通じて安定した生産を行っている。(トランスミッション内蔵部品)
- ★夏場になり味噌の売上げは、どこのメーカーも減少している。味噌主体の小規模事業者はどちらも厳しい状況にある。(味噌)
- ★☆PC関連は過渡期で減少傾向にあるが、半導体関連は、秋以降には回復の見込みである。(制御盤)



建設業 総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・建築・各種設備が減少するも、全体は増加

概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(39%)が4割増加、「減少」割合(26%)が1割増加、「不変」割合(35%)が5割減少、全体としては増加の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	35.0	40.0	25.0
	今回	増加 38.5	不変 35.3	減少 26.2
総合建設業		40.0	30.0	30.0
土木工事業		16.7	41.6	41.7
建築業		30.4	39.2	30.4
各種設備業		45.5	36.3	18.2

【業種別】 横ばい…土木工事
減少…総合建設・建築・各種設備

【受注状況】 受注残高(前回比) 改善
「多い・適正」割合 (73%) → 78%
「少ない」割合 (27%) → 22%

4～6月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～6月の発注合計は、947.4億円(前年同期比+9.8%)となりました。前年比プラスは「県」の311.2億円(同+12.7%)、「その他」の317.0億円(同+48.4%)、マイナスは「国」の119.5億円(同▲17.5%)、「市町村」の199.4億円(同▲10.6%)でした。

北信地区市町村の発注合計は84.7億円(同+46.1%)で、うち長野市は33.7億円(同+42.2%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2023年6月/2023年4月～6月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2023年6月	前年同月比	2023年4月～6月	前年同期比
長野県	国	8,115	+21.4%	11,951	▲17.5%
	県	2,450	▲54.4%	31,117	+12.7%
	市町村	6,602	▲15.8%	19,941	▲10.6%
	その他	7,086	+369.3%	31,705	+48.4%
	合計	24,253	+10.8%	94,737	+9.8%
北信地区	市町村	1,977	▲34.7%	8,470	+46.1%
	(内長野市)	948	+4.3%	3,371	+42.2%

4～6月の新設住宅着工戸数

長野県の4～6月の新設住宅着工戸数は2,907戸(前年同月比▲3.8%)でした。持家が1,653戸(同▲4.5%)、貸家が739戸(同▲8.0%)、分譲が509戸(同+5.8%)、給与が6戸(同▲14.3%)です。

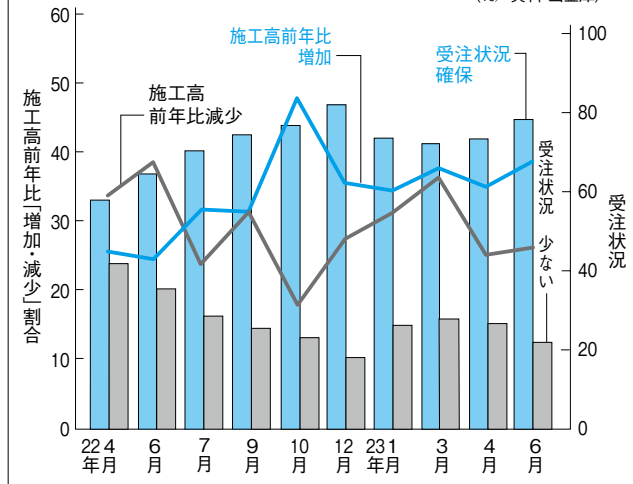
北信地区の4～6月の新設住宅着工戸数は884戸(同+39.9%)でした。持家が464戸(同+8.7%)、貸家が255戸(同+150.0%)、分譲が163戸(同+61.4%)、給与が2戸(同±0.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数(2023年6月/2023年4月～6月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	6月	181戸	92戸	50戸	0戸	323戸
	(内長野市)	104戸	76戸	34戸	0戸	214戸
	前年同月比	+30.2%	+109.1%	+42.9%	——	+48.2%
	(内長野市)	+36.8%	+153.3%	+47.8%	——	+65.9%
	4～6月	464戸	255戸	163戸	2戸	884戸
前年同期比	+8.7%	+150.0%	+61.4%	±0.0%	+39.9%	
長野県	6月	583戸	350戸	126戸	2戸	1,061戸
	前年同月比	▲8.9%	+4.5%	+13.5%	+100.0%	▲2.4%
	4～6月	1,653戸	739戸	509戸	6戸	2,907戸
前年同期比	▲4.5%	▲8.0%	+5.8%	▲14.3%	▲3.8%	

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移(資料:当金庫)



企業からのコメント

- ★北信地区に、建売業者が参入して分譲も行っているため、注文住宅は価格面で苦戦している。
- ☆★「こどもエコすまいる支援事業」や「先進的窓リノベ事業」などの「補助金」を利用したリフォームの注文は多いが、新築案件は少ない。(総合建設業)
- ☆★大型工事は全体的に多いが、中規模工事の件数は少ない、今後、繁閑期がはっきりすると、労働装備力の確保・調整が厳しくなると想定する。(内装業)

卸小売業

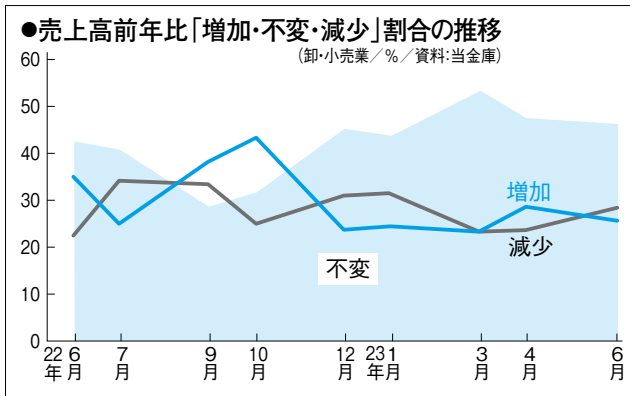
卸売業、小売業

「売上高」卸売が増加、小売は減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(26%)が3割減少、「減少」割合(28%)が4割増加、「不変」割合(46%)が1割減少し、全体として売上げは減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	28.6	47.6	23.8
	今回	増加 25.6	不変 46.2	減少 28.2
卸売業		18.8	68.7	12.5
小売業		30.4	30.5	39.1



【業種別】 増加…卸売業 減少…小売業

6月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……106.2(22カ月連続プラス)

(前月比▲0.2%、前年同月比+3.1%)

上昇…「食料」「住居」「交通・通信」「諸雑費」

下落…「家具・家事用品」「被服及び履物」「教養娯楽」
「光熱・水道」「保健医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…106.0(23カ月連続プラス)

(前月比▲0.2%、前年同月比+3.1%)

企業からのコメント

☆★志賀高原のホテルへの客入りが増加し、食材の注文も増加傾向にあるが、まだ、完全な回復には至っていない。(食料品卸)

☆中古車の需要は引き続き堅調な状況にある。新車の納入についても多少の改善が見られる。(自動車販売)

☆祭りなどのイベントは復活の兆しがあり、多少のギフト用品の需要増加が見込まれる。(寝具ギフト卸)

★コロナは落ち着いたが、逆に売上げが減少している。花より優先するものが増えているのかもしれない。現状では、秋以降に不安を感じている。(花鉢卸)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービスが増加、輸送・外食は減少

サービス業 売上げ高前年比「増加」割合は横ばいの57%、「減少」割合は14割減少の0%、「不変」割合は14割増加の43%と、売上げは増加の状況です。

輸送業 売上げ高前年比「増加」割合は27割減少の33%、「減少」割合は14割増加の44%、「不変」割合は12割増加の22%と、売上げは減少の状況。タクシー、運輸はともに減少です。

外食業 売上げ高前年比「増加」割合は5割減少の75%、「減少」割合は13割増加の13%、「不変」割合は8割減少の13%と、売上げは減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比20割の減少、前年同月比は13割の減少で、宿泊利用は伸び悩んでいます。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」が横ばいの0%、「引合いやや増加」も5割減少の20%でした。

企業からのコメント

★タクシードライバーの不足で、引き受けできない電話依頼も発生してきている。何としてもドライバーを確保したい。(タクシー)

☆「旅行割引」の終了で利用者が減少するとの予想はあったが、団体客は徐々に増加傾向にあり、特に秋の旅行シーズンの問い合わせが多数ある。(和風ホテル)

☆アパートの老朽化にともない、住宅メーカーからリフォームや改修工事の提案が増加している。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	57.1	28.6	14.3
	今回	増加 57.1	不変 42.9	減少 0.0
輸送業	前回	60.0	10.0	30.0
	今回	33.3	22.3	44.4
うちタクシー業		50.0	0.0	50.0
うち運輸業		28.6	28.5	42.9
外食業	前回	80.0	20.0	0.0
	今回	75.0	12.5	12.5

「人材育成」に関する課題

「指導する人材の不足」34% 「人材育成の時間が取れない」33% 「伸びそうな人材が集まらない」27%
 「若手人材を育成しても辞めてしまう」15% 「人材育成の経済的余裕がない」9%

「不足している」人材

「現場・作業スタッフ」59% 「営業スタッフ」25% 「マネージャー(管理職)」10%
 「総務・事務スタッフ」9% 「企画・研究スタッフ」8% 「不足している人材はいない」17%

企業アンケート
 「人材育成」②
 2023年6月調査

「人材育成」に関する課題 上位5項目は、「指導する人材の不足」34%、「人材育成の時間が取れない」33%、「伸びそうな人材が集まらない」27%、「若手人材を育成しても辞めてしまう」15%、「人材育成の経済的余裕がない」9%で、「特になし」は17%でした。

現在、「不足している人材」 上位5項目は、「現場・作業スタッフ」59%、「営業スタッフ」25%、「マネージャー(管理職)」10%、「総務・事務スタッフ」9%、「企画・研究スタッフ」8%で、「不足している人材はいない」は17%でした。

「人材育成の時間が取れない」(33%)、「伸びそうな人材が集まらない」(27%)、「若手人材を育成しても辞めてしまう」(15%)が2桁となり、「特になし」は(17%)でした。

従業員規模で見ると、30人未満の「特になし」(20%)が10割、「人材育成の経済的余裕がない」(10%)が6割、それぞれ30人以上より高く、30人以上は「人材育成の時間が取れない」(56%)が30割、「指導する人材の不足」(46%)が16割、「若手人材を育成しても辞めてしまう」(26%)が14割、「適切な教育訓練機関がない」(12%)が7割、それぞれ30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

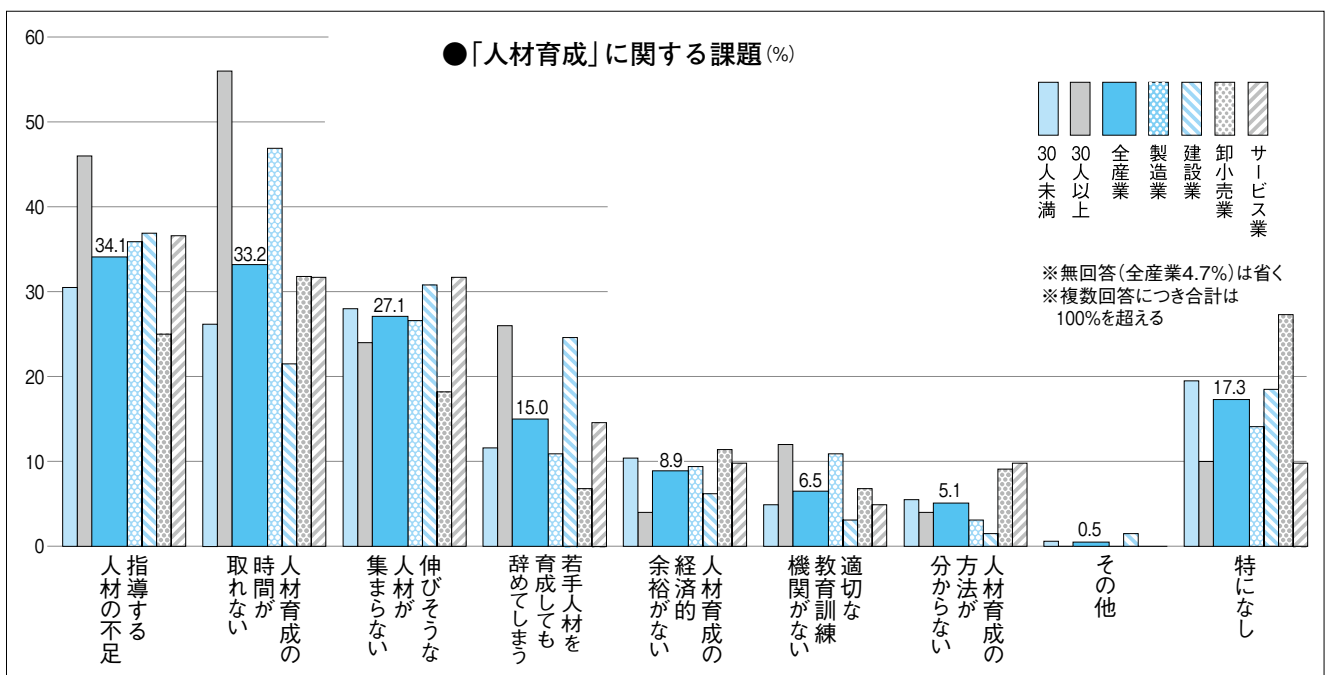
製造業 「人材育成の時間が取れない」(47%)、「適切な教育訓練機関がない」(11%)は他業種に比べ最も高くなっています。

建設業 「指導する人材の不足」(37%)、「若手人材を育成しても辞めてしまう」(25%)は他業種に比べ最も高く、他方「人材育成の時間が取れない」(22%)、「人材育成の経済的余裕がない」(6%)、

「人材育成」に関する課題

- 「指導する人材の不足」34%
- 「人材育成の時間が取れない」33%
- 「伸びそうな人材が集まらない」27%
- 「若手人材を育成しても辞めてしまう」15%
- 「特になし」17%

「人材育成に関する課題」を聞きました。
 「指導する人材の不足」(34%)がトップで、以下



「適切な教育訓練機関がない」(3%)、「人材育成の方法が分からない」(2%)が他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「特になし」(27%)、「人材育成の経済的余裕がない」(11%)は他業種に比べ最も高く、他方「指導する人材の不足」(25%)、「伸びそうな人材が集まらない」(18%)、「若手人材を育成しても辞めてしまう」(7%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「伸びそうな人材が集まらない」(32%)、「人材育成の方法が分からない」(10%)は他業種に比べ最も高く、他方「特になし」(10%)は他業種に比べ最も低くなっています。

現在、「不足している人材」

「現場・作業スタッフ」59%

「営業スタッフ」25%

「マネージャー(管理職)」10%

「総務・事務スタッフ」9%

「企画・研究スタッフ」8%

「現在、不足している人材」について聞きました。

「現場・作業スタッフ」(59%)がトップで、以下「営業スタッフ」(25%)、「マネージャー(管理職)」(10%)が2桁となり、「不足している人材はいない」は(17%)という結果となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「不足している人材はいない」(21%)が19割、30人以上より高く、30人以上は「現場・作業スタッフ」(80%)が28

割、「企画・研究スタッフ」(18%)が13割、「マネージャー(管理職)」(18%)が11割、「IT人材」(10%)が6割、30人未満より高くなっています。

◇4業種の状況

製造業 「マネージャー(管理職)」(19%)、「企画・研究スタッフ」(14%)は他業種に比べ最も低くなっています。

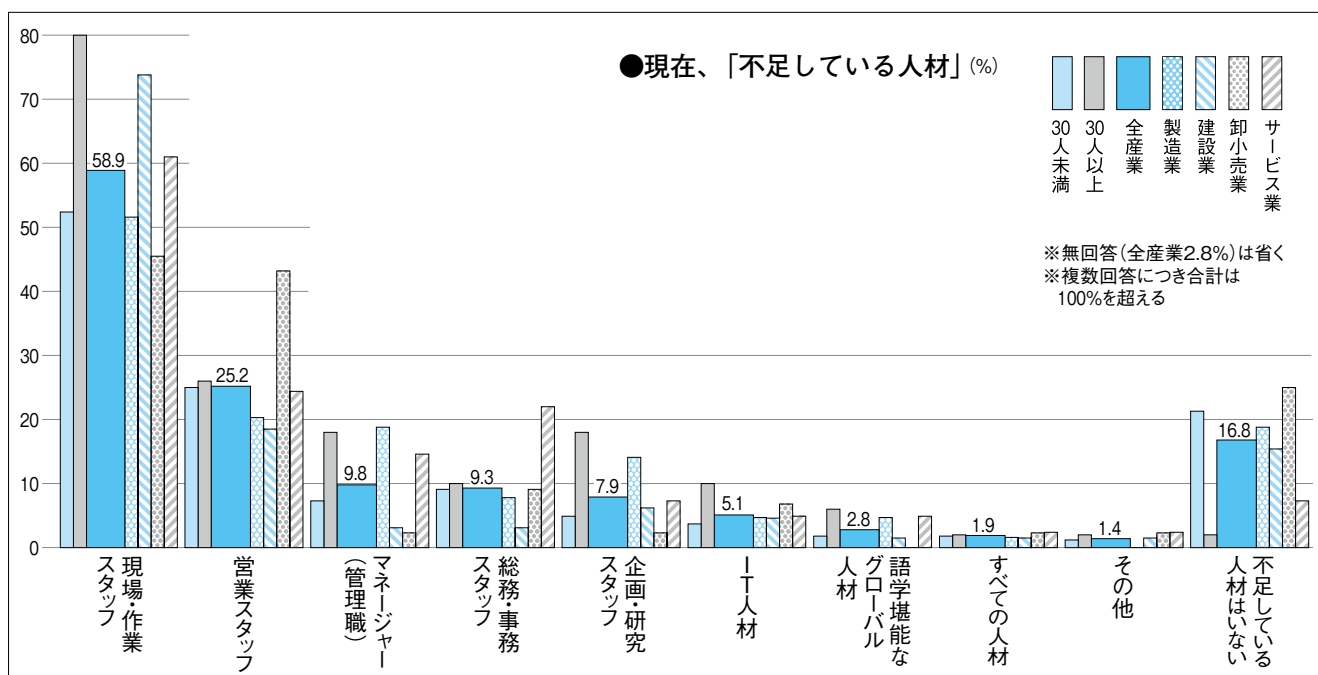
建設業 「現場・作業スタッフ」(74%)は他業種に比べ最も高く、他方「営業スタッフ」(19%)、「IT人材」(5%)、「総務・事務スタッフ」(3%)、「すべての人材」(2%)は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「営業スタッフ」(43%)、「不足している人材はいない」(25%)、「IT人材」(7%)は他業種に比べ最も高く、他方「現場・作業スタッフ」(46%)、「マネージャー(管理職)」と「企画・研究スタッフ」が(ともに2%)、「語学堪能なグローバル人材」(0%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「総務・事務スタッフ」(22%)、「語学堪能なグローバル人材」(5%)、「すべての人材」(2%)は他業種に比べ最も高く、他方「不足している人材はいない」(7%)は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「若手の人材育成で重要なこと」

「人材を確保する方法で現在活用しているもの」を予定



インタビュー 変革期の経営ビジョン



コロナ禍の未曾有の危機 を乗り越えて新たな時代へ

株式会社 東翔
代表取締役社長 田中正之さま

●創業の経緯をお伺いします…

創業者で前社長の若林隆氏が、1977年(昭和52)に権堂町で「喫茶ムー」を始め、その後、南千歳にカフェバーをオープンさせました。長野市が「冬季オリンピック」の招致キャンペーンを開始した翌年の1986年(昭和61)に、東京は日本の中心なので、いつかは「東に羽ばたきたい」という思いをこめ、(株)東翔を設立して法人化しました。

同時に、当時、長野市の都市計画で長野駅西口前のホテルを入口として、中央通りまでを地下街にする構想(構想で終わりました)があり、その地下街の入口としての立地も含めて出店も考慮し、長野駅西口のホテルの地下にサントリーピア&レストラン「ウインズ長野店」を開店させました。この頃、長野駅はまだ仏閣駅舎でした。その後、冬季オリンピックの開催地が長野市に選定され、市内に飲食店合計で16店舗余りを出店しました。当社は同時営業を8店舗以内の展開を基本として現在に至っています。

ほかに、ホクト文化ホール等でのイベントやコンサートが開催される際は、ケイタリングもさせていただいていますし、長野駅前のホテル料飲・会議等の業務委託事業。2年前から、パンに関わる業務も行っています。当社は、開業当時から「地域密着型の飲食店経営。皆様に美味しさ、笑顔を合言葉に！」を目指しています。

●社長になられた経緯をお伺いします…

私は学校を卒業後に、飲食業に興味があったことから、東京の飲食店で働き始めました。数年後、東京に戻るつもりで長野に帰省した際、知人の紹介で若林氏と出会いました。何度か話を伺っていると、長野市の飲食業の未来に対して、魅力的で感じるものがありましたので東京には戻らず、若林氏の元でお世話になることを

決めて、右腕となって業務を行いながら、飲食業界の様々なことを学びました。

2019年(令和1)に、若林氏の都合により、意志を引継ぎ社長に就任しました。

●“コロナ禍”の影響についてお聞きします…

近年は、“インバウンド消費”もあり、売上げも安定していました。しかし、社長に就任して直ぐに「新型コロナウイルス」が蔓延。飲食業・サービス業等、コロナの感染が世界中に始まり、行政からの“営業自粛”の要請を受け、人の動きが止まり、宴会・会食・リアル会議・イベントの打ち上げ等がなくなり、お酒離れの影響もあって大きなダメージを受けました。そのため、現状を維持し耐えるために、苦渋の決断でしたが東口にあった店舗を閉じることにしました。当時は「全てを投げ出してしまいたい」という思いが頭をよぎることもありました。

この苦難な時代を生き残るには、立ち止まってはいけない、ある程度の冒険・挑戦は欠かせないと役員でミーティングし意見を交わしました。飲食店経営は、この環境、状況の中で「願望・これからのビジョンや希望」を言う前に、とにかく“生き残らなくてはならない”とっていましたから、守りに入るのではなく、積極的に攻めの出店計画やテイクアウトの対応・メニューの変更・店内の模様替え等を行いました。

その中で新規の業種・業態は様々な形態を模索しましたが、“カフェ(セントラルキッチンの機能を取り入れる)とベーカリー”を出店させることにしました。お酒を提供する店でなく、ベーカリーにしたのは、ウインズでも提供できますし、ホテルの朝食に提供することもできます。商売として成り立つとの思いから決断しました。そしてSDGsの取り組みを取り入れ、フードロスの観点からも考えました。

「少しずつ行けるところまで前に進もう」と考えているタイミングで、長年、店内の内装を手掛けて頂いていた「山翠舎」さんから、長野市大門町・西之門に面白い物件があると聞き、善光寺に近く誘客も見込めると考え、2021年(令和3)に、「カフェウインズダイモン」と、善光寺大本願南門隣にあった、築120年以上の蔵をリノベー

ションした「信州門前ベーカリー蔵」を同時に経済産業省事業再構築補助金も1年かけて採択、実行され、オープンさせることができました。長野県産100%小麦粉と北アルプスの天然水を使用した食パン、信州産の食材を使用した門前ホットサンド、各種オリジナルパン。パン生地は15時間以上かけて低温発酵させて焼いています。メディアでも多く取り上げて頂いたおかげで評判になり、週末、祝日は地元のお客様、善光寺さん観光のお客様にご利用頂いています。



ウインズ長野店内



cafe Winds daimon店内



信州門前ベーカリー蔵店内

●今後の夢や方針をお聞きます…

今年になりコロナも落ち着きはじめ、大人数の宴会、イベントの打ち上げ等のお客様やインバウンドを含めた観光客も戻りつつあります。さらに、従業員の努力もあって売上げはコロナ前に近づいています。しかし、現状では原材料費や光熱費、人件費が予想以上に高騰しているため厳しい状況に変わりはありません。

今の状況を考えるとコロナが2年で終息すれば目処がたちましたが、3年半は長過ぎました。厳しい状況の中、現状を維持し“生き残る”ことを一番に新たな時代へと挑戦していく。そんな覚悟で日々の業務にあたっています。

●事業の概要

設立 1986(昭和61)年
 資本金 1000万円
 代表者 田中正之
 従業員 48名(男13名・女35名)
 業務 飲食業
 事業所 長野市南千歳1-28-3 長野NCビルB1
 URL <https://windsnagano.wixsite.com/tosho>

●沿革

1977(昭和52)年 権堂地区に「喫茶ムー」出店
 1980(昭和55)年 南千歳町にカフェバー「トゥエンティワン」出店
 1986(昭和61)年 長野駅西口にサントリーピア&レストラン「ウインズ長野店」出店
 1987(昭和62)年 長野電鉄長野駅隣に立ち食いそば店「しなの」出店
 1993(平成5)年 三井ガーデンホテル長野に「カフェドルポ」出店
 1997(平成9)年 長野駅東口に「ウインズイースト」出店
 2001(平成14)年 ホテルサンルート長野東口に料飲部/「創作料理 翔」出店
 2002(平成15)年 JALシティ長野に「中国料理 四川楼」出店
 2010(平成22)年 サンルート長野、現相鉄フレッサイン長野駅善光寺口にレストラン/会議「SUN」出店
 2014(平成26)年 ながの東急ライフ2Fに和食レストラン「和」出店
 ながの東急ライフわいわいドームに1F「ピアガーデン(夏季限定営業)」出店
 2015(平成27)年 ながの東急百貨店7Fにパスタ&食事「イルコッコローネ」出店
 長野東急REIホテルにレストラン/会議「ブランシュ」出店
 2019(令和1)年 田中正之が専務から代表取締役社長に就任
 2021(令和3)年 「cafe winds daimon」出店
 「信州ベーカリー工房」出店
 「信州門前ベーカリー蔵」出店
 他に2店舗あり

北信濃 明治時代の風景

(17) 善光寺周辺

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治30年(1897)10月に出版された善光寺周辺の案内書、『善光寺^{ひとり}独案内』の挿絵を紹介します。すでに活版印刷の時代になっていたので、これは長野市で出版された最後の木版本です。今回は長野市の善光寺周辺の図です。

明治24年の大火

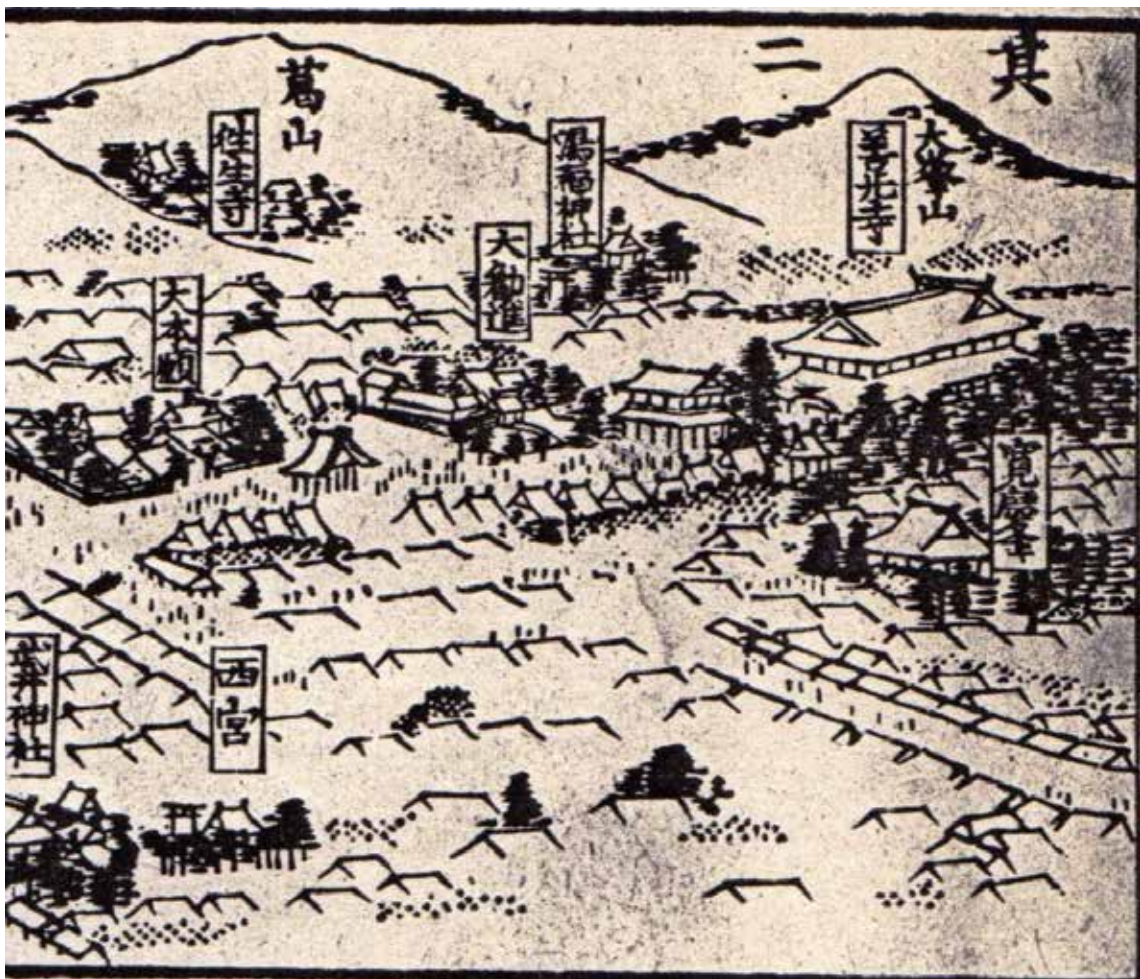
善光寺の周辺では、この絵が描かれる6年前の明治24年(1891)5月に59戸を焼く大火があり、続いて同年6月にも265戸を焼く大火がありました。これにより善光寺の仁王門や大本願が焼失しましたが、この絵からはそうした被災地の雰囲気を感じられません。街並みはすぐに復興したようですが、仁王門が再建されたのは27年後の大正7年(1918)のことです。この絵にはすでに存在しないはずの旧仁王門が、そのまま描かれているわけ

す。

善光寺本堂

善光寺の本堂は、現在と同じように描かれています。しかしこの時代の本堂は、屋根の葺き方が現在とは違っていました。宝永4年(1707)に建てられた善光寺の本堂は、何度も屋根が葺き替えられました。この絵が描かれた時期も工事中で、明治29年(1896)に葺き替え工事が始まり、明治31年(1898)に落成しています。しかしこの葺き替えでも本堂の屋根は、創建以来のサワラの板で葺く^{とち}榎葺きが用いられました。

昭和5年(1930)に落成した大正の大修理では、初めて^{ひわだ}檜皮葺きが用いられ、平成元年(1989)に落成した昭和の大修理でも檜皮葺きが踏襲されて現在に至っています。



「善光寺独案内」の善光寺周辺の図

山門

寛延3年(1750)に建立された善光寺の山門も元々栩葺きでしたが、本堂と同様に大正の大修理で檜皮葺きに改められました。平成20年(2008)に落成した半解体修理で、元の栩葺きに戻されました。

大勧進

天台宗の本坊です。表門(寛政元年・1789)と奥書院(行在所)(寛政11年・1799)は、善光寺本堂や山門と同様に弘化4年(1847)の善光寺地震にも耐えた建物です。大勧進の本堂に当た

る万善堂も善光寺地震では無事でしたが、嘉永5年(1852)に焼失して建て替えられました。現在の建物は明治27年(1894)に建立されているので、この絵に描かれているのはそうした伽藍が整った後の姿です。

大火後の復興

大本願は浄土宗の本坊です。人家に近いために火災に遭い易く、弘化4年の善光寺地震で焼失し、明治24年の大火で再び焼失しましたが、すぐに再建されました。善光寺境内の東側には宿坊が整然と立ち並んで描かれていますが、これも同様に明治24年の大火で焼失し、復興した家並みです。

湯福神社

善光寺七社の1つで、武井神社、妻科神社とともに善光寺三鎮守の1つです。諏訪神の荒御魂を祭る神社とされ、風の神として信仰されてきました。「湯福」は、風を意味する「息吹」が変化したものと考えられています。社殿は文久2年(1862)に再建されたものです。境内には善光寺を開いた本田善光の墓とされる善光廟があります。

往生寺

集落と寺院が描かれています。どちらも「おうじょうじ」ですが、寺院は「往生寺」、集落は「往生地」と書き分けています。「往生寺」は浄土宗で、善光寺の奥の院的な寺院でした。善光寺参りの旅人は、ここまで足を延ばすのが普通でした。その



栗田氏が開いた寛慶寺の本堂

ため「湯福神社」前から「往生寺」に至る一直線の参道は、両側に土産物店が建ち並んでいました。

大峯山

「善光寺」の背後に描かれる「大峯山」(大峰山)は、旭山とともに善光寺領の山で、善光寺の「お花山」とされてきました。戦後観光開発が行われ、昭和37年(1962)に模擬天守閣が建設されましたが、現在は利用されていません。

葛山

「往生寺」の背後には、「葛山」^{かつらやま}があります。山城があり、弘治3年(1557)の第3次川中島合戦で、武田信玄によって攻め落とされました。白米で馬を洗って水があるように見せたという、全国にある白米城の伝説が残る山城の1つです。

寛慶寺

善光寺山門の東側に描かれている「寛慶寺」は浄土宗で、中世に善光寺を支配した栗田氏が創建した寺院です。栗田氏は長野市栗田を本拠とする武士で、代々名前に「寛」の字を用いてきました。「寛慶」も、そうした栗田氏歴代の1人です。戦国時代の栗田鶴寿は甲州武田氏の武将となり、高天神城(静岡県掛川市)で討ち死にしました。

9月号は「城山周辺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)

◆ワークライフバランス(仕事と生活の調和)が取れているか

「取れている」49% 「取れていない」32% 「どちらともいえない」13%

「あなたは、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)が取れているか」を聞きました。

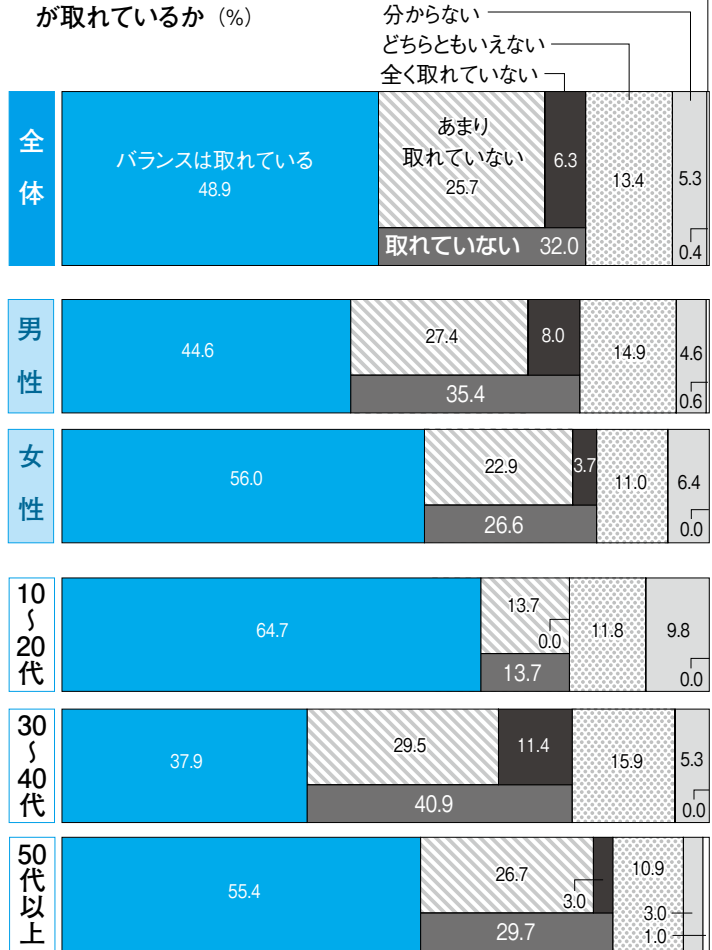
全体を見ると、「バランスは取れている」は5割弱の49%で、「あまり取れていない」(26%)と「全く取れていない」(6%)を合わせた「取れていない」は3割強の32%、「どちらともいえない」は13%、「分からない」は5%となりました。

男女別で見ると、男性の「取れている」は45%、「取れていない」は35%、女性は同様に56%、27%となり、男女間ではどちらも「取れている」が多くなりました。

世代別で見ると、10~20代は「取れている」は65%、「取れていない」は14%、30~40代は同様に38%、41%、50代以上は55%、30%となりました。10~20代と50代以上は「取れている」が多くなりますが、30~40代は「取れていない」がわずかに多い結果となっています。

〈当金庫・2023年6月調査〉

●あなたは、「ワークライフバランス(仕事と生活の調和)」が取れているか (%)



●みなさまの税務相談のご案内 [9月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
9月 4日 月	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	9月 19日 火	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)
7日 木	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	21日 木	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
8日 金	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	22日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
12日 火	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	26日 火	本店営業部	
13日 水	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	27日 水	本 部	
14日 木	大豆島支店 (長池支店)		28日 木	本 部	

